

(1) 本校の新聞活用 (NIE) の現状

本校では、新聞スクラップでの課題を出すなど新聞と接する機会を設けることを数年継続している。授業学級では 1 年次より、新聞スクラップの課題に取り組み、夏休みの課題として 1 年次に国新聞、2 年次に身近な地域新聞を作成している。新聞が身近にあるため、導入しやすい状況であるといえる。地域の方の御厚意により、5 社の新聞を生徒が通る廊下に置いてある。登下校前に立ち止まって、記事を読んでいる生徒を多く見かける。また、3 学年では進路に関わり、高校に関する記事の紹介などを進路指導の教諭を中心に行っている。

(2) 実践のねらい (育てたい力)

新聞が身近にあることにより、より多くの情報を取り入れる環境にあるといえる。また家庭でインターネットやテレビ等を通じて多くの情報と関わることになる。自分自身で、その情報を調べ理解する力と、多くの情報に対して批判的に読み取る力をつけるように、日ごろから授業を行っている。学びを通してメディアリテラシーの力をつけることにより、自分の考えを持てる生徒が増えることを期待する。

(3) 研究概要

社会科学学習指導案

1 社会科 公民 単元名 現代の民主政治 マスメディアと世論① 授業学級 3 学年

2 主 眼

複数の新聞を読み取った生徒が、級友とのかかわりで、新聞記事を読み取り、比較を通して、情報の伝え方について、どのような工夫をしているのか予想することができる。

3 本時の位置 (全 2 時間扱い 第 1 時)

4 指導上の留意点

- ・ 3 つの新聞社の 1 面記事と首相官邸の記事を比較しやすいようにしておく。
- ・ 情報を共有させるために、グループで違いを見つけさせる。

5 本時案

段階	学習活動	予想される生徒の反応	◇指導 評価	時間	備考
導入	1 増税の資料と新聞を提示し、記事の違いを見つけ、学習問題を設定する。	・ 増税について書かれている。 ・ 新聞ではどのように報道されたのかな。	◇安倍首相の発言の資料を提示し、その情報を何で得たかを質問する。	5	首相官邸 10/15 消費増税についての総理発言
		【学習問題】 同じ記事なのに新聞ごとに少しずつ違うのはなぜだろう ・ 日にちが違う。 ・ 紙面で扱われる大きさが違う。 ・ それぞれの新聞によって違いがありそうだ。	◇消費税増税の話題の新聞記事を提示し、違いに着目できるようにし、学習問題を設定する。	5	資料 消費税 10 パーセントの記事 (信濃毎日・読売・朝日)

展 開	2 グループ で新聞の主 張を読み取 り、違いを 考える。	【学習課題】 それぞれの新聞をみて違いを見つけてみよう。 ・増税をまた見送る可能性がある、と主張している。 ・同じ情報なのに、詳細に書かれている記事と、そうでない記事がある。 ・他社とほぼ同じにならないようにするには？ ・他社との違いはなんですか？ ◇各グループで信濃毎日・朝日・読売の各新聞の一面を用いて、各社の反応を読み取り、比較することで違いを考える。 ◇違いを見つけやすいように、事実肯定的なとらえ方や否定的なとらえ方を着目できるようにする。 ◇各グループに質問する内容をフラッシュカードに記入させる。 ◇グループごとに質問を考える。	30	学 習 カ ー ド
終 末	3 本時をふ りかえり、 まとめる。	・自分の予想があっているだろうか。 ・実際どんな話をしてくれるのだろうか。 ◇各グループの質問事項を確認し、次の時間の学習意欲を喚起する。 複数の新聞を比べて、話し合うことを通して、マスメディアの役割について興味関心を持つことができたか。	10	

社会科学学習指導案

1 単元名 現代の民主政治 マスメディアと世論②

2 主 眼

同じ記事の内容の一面が新聞社によって異なるのかを考える場面で、級友とかかわりや、新聞紙の作成に携わっている人の話を聞くことによって、違いを見つけ、公正な世論形成するためにマスメディアの役割を理解することができる。

3 本時の位置 (全2時間扱い第2時)

前時：消費増税の1面と首相官邸の発信情報と比較し、違いを調べた。

4 指導上の留意点

- ・生徒の予想は前時の段階で分類させておく。
- ・アドバイザーから話を聞く際は、メモを取るために学習カードを用意する。

5 学習指導案

段階	学習活動	予想される生徒の反応	◇指導 評価	時間	資料
導 入	【学習問題】 同じ記事なのに新聞ごとに少しずつ違うのはなぜだろう			15	資料 首相官邸 10/15 消費増税についての総理発言資料 消費税10パーセントの記事(信濃毎日・読売・朝日)
	1 前時をふりかえり、予想を立て、グループごと発表する。	・担当者によって考え方が違うからではないか。 ・新聞社によって主張が違うからではないか。 ・地域によって重要度が違うからではないか。	◇前の時間で話した予想を各グループより出し合う。		

展 開	【学習課題】 マスメディアは情報を発信するためにどのような工夫をしているか考えよう。			15	学 習 カ ー ド
	2 工夫について考え、 分類化する。	・読んでもらうためにたくさん のことを考えていることがわかつ た。 ・作成の段階で工夫しなくてはい けない。 ・購買してもらうための苦労がわ かった。 ・他社とほぼ同じにならないよう にするには？ ・他社との違いはなんですか？	◇首相官邸の発言と比べて、根拠を 分類する。 ◇各新聞の違いをもとに工夫の根拠 を新聞から読み取る。 ◇信濃毎日新聞での情報発信におい て1面作成の際どのような工夫が されているかをアドバイザーから 話をしていただく。 ◇質問がある場合は指名する。		
終 末	3 アドバイ ザーの意見 を聞く。			5	
	4 本時をふ りかえり、 マスメディ アの役割に ついて感想 を書く	・公正中立の立場を意識している ことが分かった。 ・見出しの工夫や伝え方などは参 考にできそう。 ・実際に話を聞いて、情報との向き 合い方を考えなくてはいけないと 感じた。	◇グループでわかったことを、共有 し、メディアの役割を整理する。 ◇個人でマスメディアの役割につい てまとめさせる。 ◇感想を書かせ、発表させる。 マスメディアの役割について理解 できたか。	15	

研究のまとめ

授業者反省

新聞を題材にすることが条件にあったので、公民政治分野が最適と考え、授業案を作成した。その中でも世論とマスメディアの単元を2時間扱いとして特別単元を設定した。信毎、朝日、読売の3社、それぞれ特徴が出ていることから生徒の考えを揺さぶる題材になると考えた。前時に3社の新聞を読み込むことで記事の意図を読み取る作業を行ったことで本時の導入がスムーズに流すことができた。板書で生徒の考えを要約してまとめたことによって、それぞれの読み取った違いが分かりやすくなった。

研究の成果と課題

社会科研究テーマ

「自分の考えを持ち、お互いに追究することのできる授業づくり」

新聞販売店のご好意により職員室前廊下に5社の新聞が毎日閲覧できるようになっている。普段から目に付く環境にあることから新聞に対する反応もよく、公立公平な立場から情報を読み取る力をつける上で、本授業は重要な位置づけであったと思われる。特に、新聞社の主義主張が少なからず反映されている記事で、3社の記事を比較して読み取り、自分の考えを持つことができた生徒が多く見られた。メディアリテラシー（情報を批判的に捉える）を意識して読み取っている生徒も中に数人いたことは、今後、社会人になった時に情報を自分で取捨選択する基本ができたと考えられる。また、理解が難しい生徒もいる中で、グループごとに意見を集約させたことは今年度の社会科研究テーマに沿った活動であり、自分の考え意見をもつことと知識を定着させることに有効であったと考えられる。今後、裁判員制度等でグループ学習を組むことで、授業を充実させていきたい。